

岐阜県 12月7日 参列

岐阜県神社庁 岐阜市薮田南3-8-24 TEL 058-273-3525 FAX 058-273-9927 発行所 http://www.gifu-jinjacho.jp/ (有) エ ム シ ー 岐阜市本荘西4-12-1 印刷 TEL 058-253-5931

います。令和六年の新 新年

開

催

できましたこと、

誠に

有

ŋ

御礼申し上げま

イ なりました。 く通常どおりに開催できるやうにり、岐阜県神社庁の諸行事も、漸 ル 昨 ス感染症の法律上の位置づけい年五月八日に、新型コロナウ 五. 類」に移行されたことによ

主催で となり、 むを得ず中止や、 なってゐました。 は開催形式を変更しての す。これまでコロナ禍により、 連合会に於いて、 開催する年となってをりま 東海五県関係の諸 規模縮小、 対応と またや

そのやうな中、 X 中 御協 中堅神職研修会、そして十一会・総会、六月・九月の東海五県神社庁連合評価協力のおかげを以ちましのやうな中、関係各位の御理のやうな中、関係各位の御理のからな中、関係各位の御理のからな中、関係各位の御理 果海五県紅葉会が、中堅神職研修会、そ 通 常どおりの御案内で無 コロナ禍

### 庁 長 挨 拶

岐阜県神社庁 庁長 伊可 奈波 知 神 社 重 宮 彦 司

皇室の弥栄と斯界の発展を心なす。令和六年の新春を言祝年明けまして御目出度う御座 祈念致します。

備も

いよ

11

ょ

始まってくること

2 た、

恒

ら例の御樋代木奉迎送の 次期神宮式年遷宮を見

で準据

せう。

お御

**飛りされてゐる八咫鏡を奉安[樋代とは、神宮で御神体とし** 

する御器のことです。

は

より

特に本年度は、 県関係の諸行事を 岐阜県が当番県 東海五県神社庁

は、 力をお願ひ申し上げます。 に奉送できますやう、 致します。 の御健勝を祈念申 御 がに、 盛大且つ無事に御料木を 版を祈念申し上げ、挨拶 県内各社の御隆昌と皆 皆様 0) 御宮に

つつ 市付 た。 ·付知町)を出発点に、東濃・中。 御料木は、護山神社(中津川裏木曽の御浦山で伐採されまし前回、その御料木となるヒノキ 裏 前 各所で奉安祭が斎行されまし 西濃を巡って、 樋 、三重県桑名市まで奉曳四濃を巡って、神宮を目指知町)を出発点に、東濃・ 代 木奉迎送が行は れる 曳指・津し

層努める。

## 総 代

会

長

挨

拶





申し上げます。 ぎ、皆様のご多幸を心よりご祈念 、ます。 新年明けましておめでたうござ 令和六年甲辰の新春を寿

な

場にて全国神社総代会が開催され、 力下さい」とのお言葉がございま 百年先を見据ゑて一層祭祀にご尽 乗り越え日常が戻った事を寿ぎ、 した。以下は大会宣言です。 冒頭で、 崇敬の念の醸成を図り、 昨年九月、 の頒布向上と参宮の促進に一 皇室敬慕の念の涵養と、 鷹司統理様より「困難を 群馬県の高崎芸術劇 神宮大 神宮

う

と地域社会の活性化に寄与する。 伝統・文化を継承して祭祀の振興 神職に協力して祭祀の厳修と な神社運営に努め、 古来の

> 青少年の教化育成に努める。 神社の奉護と次代を担う健 鎮守の森の保護育成を図 ij

す。 マネーでの決済対策などが挙げら や外国人観光客に対しての、 論、そして、 どの祭事に対しての宗教の自 取り纏めてきた氏神様や秋葉様な る神社護持の危機、また町内会で なってをりますが、 応の遅れなど、不安定な状態と 地球温暖化による環境問題への対 過出来ない風が吹き始めてをりま 争や、安定しない経済、 特に地方に於ける過疎化によ 財布を持たない若者 向に終焉しない 神社界にも看 そして 電子 曲

今年進めて頂ければ幸ひと存じま 百年先の為に、 理様のお言葉をお借りすれ 是非一 歩でも

れるでせうか。

せて戴きます。 祈念申し上げ、 神職各位の益々のご健勝を心より 年になると言はれてをります 結びに、 神社のご隆盛と役員・総代・ 辰年は力溢れ活気づく 年頭のご挨拶とさ



### 本 部 長 挨 拶



神道政治連盟岐阜県本部 本部長 宮司)

金神社

います。 新年明けましておめでたうござ

り申し上げます。 先づ以って御皇室の弥栄と御 皆様の御健勝と御多幸をお祈 降

県本部に於いては推薦候補者三十 感謝申し上げます。 選挙が行はれ、 名が当選となりました。 昨年は、 四年に一度の統 神道政治連盟岐阜 改めて 地方

あります。 として、 神道政治連盟の政策推進 米と農業・農政の問題が の課題

と神宮に於いては、 れは日本列島に行きわたり、 築かれたものと言へるでせう。 作を中心とした農業を基盤にして 古くからの神道があり、 が国の精神文化の根 祈年祭や新嘗 それは稲 底には、

> ます。 伴ふ農村の過疎対策や地方の農林 きました。 低下の一途をたどる食料の自給率 と農業の問題には強い関心を払 連盟に於いては、 水産業振興策、それに家庭、 す」ことを綱領の第一に掲げる本 伝統文化を生み出し、 祭などの伝統の祭祀 も関心をもって取り組んできまし に歯止めをかけるべく取り組んで 日に於いても大切に維持されてゐ 国 護感謝などの様々な祭や行事 !や家々に於いては、 地産地消の啓発などの運動に 米食の奨励や米粉利用の推 食料の安全保障の見地から、 一政の基礎を確立せんことを期 地域に於ける食育等を通 「神道の精神を以って日本 また急激な人口減少に 国民の主食の米 それらは 全国 0

のは、 べきものです。 源でした。 民を養ひ、 稲作を中心とした、農を奨励 国の大本」と言はれて来ました。 来の最高不変 我が国に於いては、 歴代天皇の祭祀と治世の本 これは我が国始まって 民の幸せと安寧を祈る 0 国是」と言ふ 古来 は

所念申し上げます。

継が 養蚕を上皇后様から引き継がれま 於いて桑を育てて、 この広遠な大御心を今に受け れ、 また皇后様も、 御手づから米作りをなさい 皇居で籾種の播種に臨ま 衣の元である 同じく皇居に ま

でいきたいものです。皆様の益々 を目指し、協心努力して取り組ん となるべく「農政」の改善、 情を良く知ることに努め、 りを中心とした農業には常に最大 の関心をはらひ、 からも日本人の命の糧となる米作 御理解と御協力をお願ひ申し上 皇室と共に生きる我々は、これ 今年が良き年となりますやう 食料と農村の実 国の基 改革

# 神宮大麻暦頒布始奉告祭 びに神殿祭斎行

令和の御代となり、

天皇陛下に

を行ひ、 に神宮大麻及び暦が頒たれた。 り、桑原善吉総代会長と各支部長 殿祭が斎行され、可知重彦庁長よ 神宮大麻暦頒布始奉告祭並びに神 祭典後、 十月三日、 頒布に貢献のあった支部 神宮大麻頒布表彰伝達 神社庁神殿に於いて、



県神社総代会 山 加 神 県市支部 茂 郡 社 支部 庁 事務長 支部長 長 長 梅田 川上 可知 牧 男 猛



## 神宮大麻頒布 加茂郡支部 支部表彰

山県市支部

告が上程され、 れも可決・承認された。 令和四年度事業報告·決算報 十月定例協議員会が開催され 旦 神社庁研修室に於 協議の結

### 【歳入の部】 878,000円 幣 帛 料 2 付 131,416,320円 交 金 神殿初穂料 3 55,000円 4 担 34,307,489円 負 숲 5 財 産 収 入 962円 6 諸 収 入 18,652,850 円 7 前期繰越 金 10,339,161 円 合 計 195,649,782円

定例

協

員会開

○差引残金 12,098,764円(次年度へ繰越)

	【歳出の部】					
1	幣帛料	2,898,500円				
2	神宮神徳宣揚費交付金	49,833,427 円				
3	会 議 費	5,145,382 円				
4	神 事 費	2,776,824 円				
5	庁 費	43,559,845円				
6	事 業 費	20,926,191 円				
7	負 担 金	36,410,849円				
8	積 立 金	22,000,000円				
9	予 備 費	0円				
	歳 出 合 計	183,551,018円				

令和四年七月|日~令和五年六月三十日

岐阜県神社庁歳入歳出決算

令和四年度

# 地区神社関係者大会·総会開催国民精神昂揚運動

演題は ちづくり」~繋がりが健康をつく 阜市・大野・ る~』であった。 専門職員の神谷哲朗氏を招聘した。 順に開催された。担当は可児・岐 東濃・岐阜・飛驒・中濃 レイル(虚弱) 予防 「健康長寿のま 京大学高齢社会総合研究機構学術 部であった。 ある地区神社関係者大会・総会が、 七月三十 国民精神昂揚運動の 『人生百歳時代を元気にフ 関市・安八郡の各支 日 恒例の講演には、 から八月四 西濃の 日に 環で 東 か

講演では、日本の高齢化やその 関について、病気ではなくフレイ の増加を指摘し、高齢者の死亡原 の増加を指摘し、高齢者の死亡原 のがあること

う

的な栄養・運動といった身体的健で、深刻な問題となってゐる。で、深刻な問題となってゐる。がりが希薄化してゐる現代に於いがら始まりやすいため、地域の繋から始まり。

神生活の綱領唱和、挨拶、功労者れの次第によって、神宮遙拝、敬講演後の大会では、地区それぞるといふ講演であった。

をもたらし、

相互に発展していけ

繋がっていく。で活力が湧き、

フレイル予防が日

人と人との関はりを持つこと

本の高齢社会と神社界に相乗効果



講師:神谷哲朗先生

はれた。

開催日等は次の通りです。

八月四日 関市文化会館 八月三日 中濃地区 高山市民文化会館 八月二日 八月一日 可児市文化創造センター 七月三十|日 大垣フォーラムホテル 三八三名 西濃地区 飛驒地区 岐阜地区 東濃地区 岐阜市支部 安八郡支部 可児支部 大野支部 二七二名 関市支部 三一九名 一〇五名 ○五名

# 中堅神職研修会(後期)開催第二十九期東海地区

を担ふ神職に課せられた任務は多 国際情勢を鑑みれば、 とすることである。 各県の教化体制を更に盤 を再確認し、 を担ふ神職が神社神道の根本精神 (後期) 本研修会の目的は、 九期東海地区中堅神 和 阜県神社庁に於い 五年九月四日~八日の五 を開催した。 資質の向上 今日の国内 斯界の将来 各県の 職 て、 石のもの を図り、 研 修会 中 日 堅

する有為有能な人物の養成は特にり、教化体制の強化、時代に即応大である。祭祀の厳修はもとよ

県十九名、 終了し、今回は後期課程を開催し が当番となり、 で運営を行ひ、 た。各県から推薦された四十六名 (長野県八名、 毎年東海五県 が参加した。 静岡県八名、 三重県五名、 神社 前期課程は六月に 令和五年は岐阜県 庁 が持ち 岐阜県六 愛知

はいい。 東に関する演習」等について研修 東に関する理論及び演習」、「神道古 に関する理論及び演習」、「神道古 に関する理論及び演習」、「神道古 に関する理論及び に関する理論及び



# 金幣社会開催

鎮座) 里に場所を変へ、 開催された。 会・懇親会は、 三十六社、六十二名が出席した。 係者が集ふ金幣社会が開催され 午前十時より多岐神社 県内の庁長参向指定神社の 養老上石津支部が主催 和 で正式参拝を行った。 五. <del></del>
月二 養老温泉ゆせんの 午前十一 五. 日 (養老町 時から 西濃 協議 地

た。 地区の平澤克典郡上市支部長より を賜り、 挨拶があった。 に本郷啓介副庁長より挨拶があっ る西濃地区の森川一俊養老上石津 支部長より開会の挨拶があり、 綱領唱和を行った後、 神宮遙拝、 村下貴夫県議会議員より祝辞 続いて来賓の川池憲元養老町 最後に次年度当番の中濃 国歌斉唱、 当番であ 敬神生活 次

盛会裡に終はった。
おいて、清興として「養老・上の、その後、懇親会が開催された。のででが、の後、懇親会が開催された。のででが、での後、懇親会が開催された。



# 東海五県紅葉会開催

て、 神社本庁の藤江正謹常務理事が出 来賓として、 てゐたが、四年ぶりに開催された。 野県当番による開催以降中止され ナ禍により、 県の当番により開催された。 協議を行ふ東海五県紅葉会が岐阜 午後三時より総会が開催され、 令 東海五県の別表神社が集って 岐阜県下呂市「水明館」 和 五年 + 神宮の橋本敏輝禰宜 令和元年十一月の長 月十六・ 」に於い 十七 コロ Н

司より前年度経過報告があった。拶、静岡縣護國神社の芦原久雄宮後、本郷啓介副庁長より当番県挨席された。神宮遙拝、国歌斉唱の

紹介が行はれた。 宮司、権宮司に就任された方々の次に前回開催以降に名誉宮司、

三重県提案議題満場の拍手を以って承認された。議題の協議が行はれた。いづれも、社庁長が座長となり、提案された

合わせるの件を開御であることを申しは積極的に協力することを申しを展開するとともに、御樋代木を展開するとともに、御樋代木を展開するとともに、御樋代木の地が開御遷宮に向けて神宮崇敬の次期御遷宮に向けて神宮崇敬の

愛知県提案議題 猿田彦神社 阪口貴宏権禰宜

祀伝統継承に邁進するの件職・氏子崇敬者一丸となって祭コロナ禍よりの回復に努め、神

岡県提案議題 知立神社 神山忠憲宮司

家族のあり方について

神社庁の滝和人庁長より挨拶をい最後に、次年度当番県の長野県小國神社 土屋克彦権宮司

ただき、閉会となった。

経会の後、午後六時より懇親会が開催され、神社本庁の藤江正謹が開催され、神宮の久邇朝尊大宮司代読され、神宮の久邇朝尊大宮司代読され、神宮の久邇朝尊大宮司代読され、神宮の久邇朝尊大宮司の、歓談により親睦を深め、盛会

令和五年度 青少年育成事業

で。 岐阜県神道振興会では、家庭祭 神棚」として作る体験会を企画し きる鳥居とお神札立てを「小さな きる鳥居とお神札立てを「小さな がで

解頂き、準備して頂いた。
市)に相談したところ、快くご理市)に相談したところ、快くご理でを株式会社唐箕屋本店(岐阜



納行事が行はれてをり、

境内では

輪くぐり) の本莊神社で、市の田瀬神社、 年六月二 の神事を 夏な七 越ご月 巡の大祓(茅の月一日に岐阜古 始 五日に中津 め、 各種奉 (茅の 市 ĴΪ 見かけた。

令和

Ŧī.

も説明した。 に合はせてお神札や神棚につい 熱心に組み立ててゐる子ども達を 興味関心を持ち、 に訪れた子どもや家族連れなどに 夏祭の種々催し物があった。 補助しながら、その子どもの年齢 かけ参加する場面も見受けられた。 していただいた。 会員が声がけをして体験会へ参加 人に会員が付き、 体験会では参加者の子ども一人 会員に自ら声を 参加者の中には お神札立てを 7

な

成した「蘇民将来」 令和三年度の同事業で作 の紙芝居も展

う

者が興味をもって見入る姿を多く 茅の輪くぐりを行った参拝

習慣化されなくなった現状を改め 各家庭で神棚やお神札を祀る事が 家庭祭祀に対する認識の低さや、 に、感想をいただいた会員側は、 を、よく知らなかった」と言ふ人 と気づく人や、 も保護者もあまり意識することが て実感した。 など様々な感想をもらった。 なく、「仏壇はあるが神棚はない」 神棚やお神札につい 「お神札の祀り方 て、 子ども 同時

なった。 神棚、 家庭に届けることができ、 今回の事業で五十以上の 神札に親しむきっかけに 神社や 神棚 を



れ、 全国女子神職協議会では、 会長と副会長が出席した。 シフィ マサリス助教による「外 ク大学歴史学科 七月

# 岐阜県女子神職会活動 報告

は、 総会を行った。 教はった。 題して、 り「女子神職の服装について」と 七月二十一日に岐阜県神社庁にて した景色は格別であった。 庁舎二十階の展望ロビーから見渡 の装束についても実践的な著装を 岐 阜県女子 正装はもとより、 雄神社大野道子宮司によい。 研修会終了後、 神職会は、 その後の研修会で 令 県の新 常装時 和 五.



米国 ディナ・ は 十日に神社本庁で教養研修会が行

> 現状」 応答、 その後、 神職ではないと思はれること 奉仕経験から「女子神職は正式な に興味を持ち、 玉 が語られた。 造してほしい。」と述べられ を持って、 (学習院大学講師) 人研 ての聞き取りと自らの神社での 女子神職の素晴らしさに自信 女子神職の の講義があった。 究者の立 天神神社 神社の美しい未来を創 特に女子神職につ 場 日常業務の から女子神 小平美香宮司 の司会で質疑 日本文化 様子 た。 が多

石上神宮(奈良県)、岐阜県 修会は八月二十三日、二十 二名が参加した。 また、 (伊勢市) 七月十八日~二十日に神宮道 同協議 で、 会の 神道行法錬 岐阜県、 祭式 一四日に 小からは 研 成 修 研

浦安の舞を中心に、 日に加納天満宮 方や基本的な所作と豊栄の舞を勉 祭祀舞勉強会は、 二十数名が参加した。 各日、 神職と一般合は (岐阜市) 扇や鈴の 九 月 五. にて、 H 扱ひ 六

される方、 会長服部直美までご連絡下さい。 加を希望される方は、 阜県女子神職会に入会を希望 また祭祀舞勉強会に参 女子神職会

が

かかることから、

将来に向けた

中である。

社

殿社屋の修

# (☎○五八四―二二―三六九二)

維持

修繕 ・ 13 実

補修事業について、

画 的

ん施する必要があると

思った。



過疎 地域神社活性化推進施 飛騨市古川町 高田神社 宮司 太江地区 田近 和清

での報告と今年度の実施内容を述 神社活性化推進施策指定神社とし べたいと思ふ。 !繕費の見積もりを業者へ依頼す 初年度は、 今年度にて、 最後の年になった。 計 三年間 画書を作成したり、 の過疎 昨年度ま 地 域

びその工事に付帯する雪囲ひ固定 ゐた拝殿裏敷地石積み補修工

事及 して の計

二年目

あり計画どおりにはいかなかった。 ることから始まった。 結果、

> すりを設置して欲しい」と意見が 殿正面参道の急傾斜の石階段に手 かった。その中で、氏子より「社 を大幅に変更しなければならな 等々、着手する事業が多く、 損耗が著しいため修理したこと 縁の欄干及び縁板が老朽化による 鰹木の修理、 から始まり、 うづは、 かねてから高齢の氏子の要 宮司希望の浅沓の また、 駐車場の 拝殿西側濡 舗装工事、 計 更 画

> > することで、

地元の方々の参拝も

活性化に繋げることができ

昨年三月には、

神社本庁に於

業を行ふことができ、

神社が充実 は々な事

本施策の助

成金により様

年度始め 当初計画

検討したうえで

当初の計

排水整備のための石積み補修工事 施工前

の新設工事については現在施 た拝殿裏の雨の排水整備の の事業に繰下げて実施することと 塀の新設工事については、 石積み補修工事については、 それに付帯する雪囲ひ固定塀 計画変更により中断してゐ 繕には多額の経費 無事完了し ため 工 漸

再開することができ、

した。

寂れて、 果を実感し、 訪れたりと、 参拝者が集中し、 その中で印象に残ったのが、 点研究会」 活性化推進施策指定神社 考にして実践中である。その結果、 用することにより、 とであった。 なってしまうこともあるといふこ 加させて頂き大変刺激になっ 新潟県の方がSNSを見て参拝に からず増えるとの意見もあり、 交換を行ふ に大きな神社があると、 施 県外からの参拝者も増え、 策の代表者が 国 都会の中でも過疎神社と が開催され、 喜ばしく思ってゐる。 その他、 地元の方のみでは 凍 地 一期過 名もない 集 域 参拝者が少 心情 神 SNSを活 社 そちらに それに参 地 活性 ·神 社 推進 近く 神社 化 参 効 な



排水整備のための石積み補修工事 施工後

## 令和6年

神道政治連盟岐阜県本 部 長 本 郷 啓 一 同 伊 藤 治 副 会 岐 同 会 阜 問 長 長 岡松洲桑神 

 尚本
 太右衛門

 本
 太右衛門

 量 制 夫 暢 介 部

副 議協 議員同同 同同同同同同同同同同同 同庁長長会 事 長 日後栗黒樋伊小牛上服細中可髙林洲桑谷本可県 野藤山田口藤嶋丸月部江山児田 岬原田郷知神 良直裕正佳治抄大智哲雅征大義康孝善吉啓重社 和剛久直久夫仁吾也夫紀治喜彦司雄吉暢介彦庁

各務原市支部長後藤正人	同 小寺敏夫 副支部長 伊佐治康 利 支部長 中山征治	同森文樹副支部長河村善隆 東部長河村善隆 東部長川戸 亨	美濃市支部長順部哲夫	関市 支部長 平田節治	多治見支部長須水啓之	大垣市支部長中川幹彦	高山市支部長細江雅紀東部長谷田吉暢	时 阜 市 支 部 藤 直 剛 一 後 藤 直 剛
山県市支部長山田正公山県市支部長日比野良和	本巣郡支部長園部隆雄本巣郡支部	同 所 敏 彦 司 新 安 部 支 部 長 樋 口 佳 久	安八郡支部長高田義彦安八郡支部長高田義彦	不破郡支部長富田猛	同 渡辺 剛司支部長 高 木 喜 弘文部長 森 川 一 俊	同 伊藤 浩到支部長 徳 橋 稚 子支 部 山 内 久 和	羽島支部長伊藤治夫郡島支部	同 酒井源五即支部長梅村幸司支部長深谷耕平
古城郡支部長河 邦宏支部長洞 邦宏	大野支部長中切真吾 立正孝	益田支部長 岡部則良東部長 熊崎 清男	恵那市支部長田中丈雄	土岐支部長山路峰弘東部長黒田正直	可 児 支 部 舞 幸 美可 児 支 部	加茂郡支部長古瀬義郎	郡上市支部 医神頭安法	武儀支部長山田巳治

皇紀2684年

年

岐

阜

護

國

神

社

金

神

社

春

H

神

社

宮

司

伊

佐

地

金

嗣

電話(

(○五七五)二二一〇五七〇

関市南春日町一番地

岐阜市金町五丁目三番地の

司

宇

都宮幸

電話(○五八)二六二一二八六五

宮

司

本

郷

介

岐阜市御手洗三九一

三番地

加

納

天

満

宮

貴

船

神

社

大

関市貴船町

宮

訶

林

司

宮

訶

玉

岡

正

臣

電話

〇五七五)二二一三〇九二

(0五八)二七一-0七0六

岐阜市加納天神町四丁目

高山市一之宮町五三二三番地

電話(〇五八)二六四-二七八一

飛驒 宮水無神 社

不破郡垂井町宮代 七三四番地の一

宮 司 上 大 月 智 社

南

岐阜市伊奈波通一丁目

伊

奈

波

神

社

大垣市荒尾町字南瀬古一二八三番地の一

電話(○五八)二 宮 司 可 二六二-五一五三代 知 重

御

首

神

社

八

幡

神

社

大

津

神

社

宮

司

結

城

泰

宏

飛騨市神岡町船津

八二三番地の二

宮

司

黒

田

正

直

→岐市妻木町三○五一番地の

宮

司

 $\equiv$ 

浦

篤

電話(〇五八四)九一-三七〇〇

高山市桜町一七八番地

幡

桜

Щ

八

宮

美濃市大矢田 大 矢

 $\mathbb{H}$ 神

眞 清 辰 也

子 守

可児市中恵土二二五九番地の

電話(○五七二)五八-○○五七

電話(〇五七八)八二-〇二五四

司 (○五七四)六二-五二二二 溝  $\Box$ 隆 弘

宮 司

電話(〇五七七)三二一〇二四〇

(○五七五)三五-〇一六五

社

宮

神 社

電話(〇五七七)五三二二〇〇 司 牛 丸

大

吾

岐阜市長良一九七二—

天

神

神

社

久

尻

神

社

気

工岐市泉町久尻七八四番地

宮

司

林

和

電話(〇五八)二三二-七七〇三

電話( (〇五八四)::::--:::五 也

八 大垣市西外側町 幡 一丁目一番地 神

宮 電話(〇五八四)七八-四九七七 訶 中 Ш 幹 社 彦

宮 訶 神

笠

原

明

宮

多治見市笠原町二九〇〇番地の

高山市神田町

電話( 宮

(○五七二)五五-三九九五

司

井

 $\Box$ 

進

電話(○五七 黒 )四三十三三五 田 和 朗

飛 騨 電話(〇五七七)三二一〇六八七 宮 司 堀之内 由人

総 社

一丁目 一一四番地

多 電話(〇五七七)七三-二五六八 宮 若 司 天木 宮 神 志乃夫 社

電話( 宮 司 五七四)七六二二 安 江 智 之

飛騨市古川町上気多一二九七番地

山 白 山 神 社

加茂郡白川町水戸野一〇九六番地 電話(〇五七五)三二-二三六三 宮 司 五. +嵐 義郎

洲 美濃市須原四六八番地の一の 原 神

社

### 社寺建築◆御調度品◆御装束

神社・寺御用

### 株式 甲 村

〒463-0075 名古屋市守山区新守西1608 電話代表 (052) 792-1202 F A X (052) 792-1293 JR新守山駅店

建築部 国宝·重要文化財保存修理工事・社寺建築工事 屋根部 檜皮 葺・柿 葺・銅 板 葺 (屋根形木工事共)

### 田中社寺株式会社

代表取締役 田 中 敬 二

㈱丸繁建築設計事務所

〒500-8483 岐阜市加納東丸町2丁目20 電 話 (058) 272 - 2871 代 ※御見積書等・御一報次第参上致します。

神社・仏閣建築請負 設計施工、神棚、神具

### **旬白鳳社寺**

(旧 唐箕屋社寺工務店)

鵤工房一級建築士事務所 高 崎 勝 則

岐阜市金園町4丁目3番地 電話(058)264-0068 https://hakuhoushaji.com

社殿・神棚・神祭具・御装束・製造販売

### 株式 冨田神具

〒503-2122 岐阜県不破郡垂井町表佐1385番地 TEL(0584)22-5320 FAX(0584)22-5978 http://www.tomida-shingu.co.jp

神具 装束 大正七年 創業

## → 藤屋 助右衛門

〒509-1622 下呂市金山町金山2051 TEL 0576-32-2074 FAX 0576-32-2039

### 太鼓作り900有余年 本木製ならではの品格と質の高さは最上級

原木・原皮からの 一貫生産 工場直売



在庫豊富 各品速納 カタログ送付

諸太鼓製造元 津島神社他多数御用達零 ○神社·仏閣·教会用○雅楽·能楽用各種○祭礼用·舞台用·他

### 超田新五部 商店

☎(0567)**26-2412**代

愛知県津島市下新田町5丁目123 FAX **24-7663** http://hottashingoro<sup>-</sup>taiko.com E-mail:shingoro@pony.ocn.ne.jp

[事業内容] 神社建築設計施工・社般製作、神棚・御霊舎製造販売 神祭具・内陳調度品、おみこし製造販売・レンタル神輿

古の伝統 受け継がれる技 築き上げた信頼



創業明治二十八年

### 株高铁屋木店

〒500-8104 岐阜県岐阜市美園町3丁目4番地 TEL(058)263-3311 FAX(058)263-4300 http://www.tomiyahonten.com E-mail info@tomiyahonten.com



### 伊勢お後名物

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地 電話 0596-22-2154(代) 別-昇4秒 0120-081-381 https://www.akafuku.co.jp

神社・仏閣・灯籠・記念碑・墓石・造園・他石材工事一式

• / JAいび川指定業者



岐阜県揖斐郡大野町稲富2348 電話(0585)32-1114 FAX(0585)34-1196

社 寺 一般 建築 請 負岐阜県伝統建築認定第3号

### 堀部建設株式会社

岐阜市芥見堀田57番地 TEL(058)243-1715 FAX(058)241-2567

# 神社関係者大会開催 支部神宮大麻頒布式:

岐阜市支部

列のもと、盛大に執り行はれた。 ナ禍以降、 者大会」を開催した。 市支部神宮大麻頒布式並神社関係 会館に於いて「岐阜県神社庁岐 の開催となり、 第一部の神宮大麻頒布式は、 神宮橋本敏輝禰宜に御臨席を 和五年十月十一日、 約二五〇名の神社関係者参 四年ぶりとなる制限な 神宮大宮司御代 今回はコロ 岐阜市 支 阜

裡に斎行され、 部教化委員長の八幡神社宮本成敏 支部目標となる決議・宣言も満場 展に尽力された四〇名の功労者の を賜るとともに、長年各神社の発 神宮大宮司様より鄭重なる御祝辞 表へ本年の神宮大麻が手渡された。 神職三名の計七名の奉仕にて厳粛 方々を表彰した。また、本年度の 宮司以下、三名の教化委員と管内 致にて採択され、 第二部の神社関係者大会では、 斎主より頒布者代 参会者

本年度は、 三唱を行ひ、 制限なしの開催に合 閉幕した。

篠笛 た。 関係者一同努力していきたい。 の神宮大麻を頒布できるやう支部 層参加者を増やし、一体でも多く 事業を継続するとともに、 皆さんに大変喜ばれた。 て鑑賞することができ、 皆さんに篠笛の演奏をいただい 体である、 河田恭子氏と加納天満宮の奉仕 間を設け、 て第一部と第二部の間に清興の時 加させるかが大きな課題であ そこで、 普段なかなか聴くことのない の演奏をオリジナル曲を交へ 減少した参加者を如 市内在住の篠笛奏者 「天楽・篠笛の会」 新たな取り組みとし 来年度も 参加者の より一 何に 団

## 税と献穀米の献 多治見支部 宮司

須永

啓之

きした。 えのお」 セヒカリ」の籾種を、 和五年は五回目となり、 う ! を体験する「日本文化を体験しよ 更に収穫感謝祭と注連縄作りまで 田植ゑから始まり、稲刈り、 新 いお」が管理する田んぼに直播 こカリ」の籾種を、「淘世原え 神宮司庁より譲与賜った「イ 羅神社 の事業を実施してゐる。 (御幸町鎮座) 四月上旬 で 脱穀、 は、 令

が参加し、 九月十七日に家族ら九組二十人 神事の後、 台風の被害



は、 なった。 刈り取った稲藁で注連縄作りを行 お米は十 き」で脱穀を体験した。 準備して頂いた昔ながらの 参加してゐる親子もあり、 りが抜き穂し、 もなく順調に育った稲を一 み脱穀機」や、 際よく進められた。 女性が稲を刈り、 にして伊勢神宮へ献納した。 稲穂を束ねて掛ける等、 有廿原ええのお」の方々に 一月の新嘗祭に奉納し、 「懸税」と「献穀米」 櫛の様な 男性が 翌週二十 収穫した 「千歯こ 人ひと げを設 「足踏 九

を深めることができた。 伊勢神宮への理解と感謝の気持ち この体験を通して、 式年遷宮や



う

### 観 月 슾

開

催

手力雄神社 宮司 各務原市支部 浅野 義

観桜会と秋の観月会の年二回 て止まり、 して始められたこの行事は、 市 月三十 た。 今年で四年目を迎へる。 那加鎮座) コロ 日 つながりの消失を危惧 ナ禍にて行事がすべ 手力雄 にて観月会が開催 神 社 (各務 春の 行は

は次のやうな演目で奉納された。 など賑はひを見せた。 書道パフォーマンス、マルシェ出店 当日 市内大学生書道家琉紅氏のは、境内舞台や舞殿を使用 雅楽奉納で



青地越殿楽 越え老うくん

祭事への参列も増えてゐる。

[舞楽] ] 還城楽 朗 詠 紅 葉

てゐる。 つながりを創出する機会となっ 季節を愛でる機会と同時に人 々



して雅楽会を立ち上げ、 開が難しくなる中、 ゐる。会を重ねる度に会員が増え、 楽の練習はもとより、 既存の組織体での教化活動の 発室や、 氏子崇敬者から入会を募って 神社に関はる機会を増やし 茅の輪作り、 新しい組織と 神社体験 注連縄作 門戸を広 展

> ŋ 集ひ易い環境を用意していきたい。 行事を通して、 強く求められてをり、今後も新 されないといふ課題はどこも同じ 固定化され、 の地域組織に於いても人や年齢 因のほとんどが地域組織との関は てない氏子崇敬者は多い。 口として地域と人をつなぐ役割を だと思はれる。 が少ないことにある。 社に興味はあるが関は 新しい人の参加がな 風通しが良く、 神社側が新しい 自治会等 その りを持 窓 原

ロナ禍を乗り越えて 氏子総代研修を通常開 諏訪神社 宮司 中津川市支部 荻野 正道 催

数年は、 で研 ロッ または中止せざるを得ない状況が 0) 中 いてきたが、 修会を開催した。 移行を機に、 ク 津 研修」 総代会主催の Ш コロナ禍により規模 市支部では毎年四 を行ってゐる。 昨年五月の第五類 十七部会十会場 「支部総代ブ 月 縮 <u>分</u>五.

茄等五 学川部会・千旦林部会・1月二十八日には第八ブロ 阿ぁツ 木ぎク

> 神職三名が務めた。 今回から神社本庁発行のリーフレッ 名が、茄子川 部会・白山部会) て行った。 資料として、 「神社総代のすゝめ」 神社役員総代研修資料」 講師は第八ブロ の諏訪神社に集まった。 岐阜県神社庁発行 の氏子総代三十 を利用 ッ 及び





講義① 神社本庁憲章、神社本庁研修は午後一時~四時、

子総代の務めと氏子につの目標、本庁幣奉献、氏

表役員、総代について講義① 神社規則 責任役員、代

# 天習 一献饌撤饌

実習 手水の作法

終了後、受講者全員に修了證が天習(三) 玉串奉奠と拝礼について

・地域の神社関係者が一堂に会しうな感想が寄せられた。

・地域の神社関係者が一堂に会しても有意義だったと思ふ。

今後も、情報交換を綿密にし、ん達にしっかりとした作法を見信がついた。



# 支部神社関係者大会開催

者大会を開催した。
おいる。その後、恒例の支部神社関係神宮大麻暦頒布始奉告祭を斎行し東天神社(南濃町鎮座)に於いて、東天神社(南濃町鎮座)に於いて、東大神・大学では、十月二十七日、海津市支部では、十月二十七日、

本社関係者大会では、初めに神社功労者表彰を行ひ、続いて研修会が行はれた。研修会では、今尾供講師)を講師に「風土記~風土任講師)を講師に「風土記~風土と理想的指導者像」と題して講演をいただいた。

た。元明天皇に始まる風土記は、それに伴ふ指導者像が説明されし、人々の自然との向き合ひ方と、講演では、世界の風土を類型化



あらゆる情報の報告を諸国に求め たものであり、「聞こし召す」「知 る。自然の恵みと脅威にさらされ る我が国の風土に根ざした神と日 本型指導者の様相が窺はれること となった。



# 濃地区神職研修会開催

つりについての講義を受けた。 つりについての講義を受けた。 つりについての講義を受けた。

# 佐久良太神社 宮司 中山 久司 お離取場観世音

旧苗木藩領は神道の信仰が強く、明治の神仏分離令により、仏像・松の近くにも正法寺と言ふ寺があり、首の無い地蔵が見られた。こり、首の無い地蔵が見られた。このことから、恐らくこの観世音も廃仏毀釈の影響を受けて破壊されたものだと思はれる。

私が当神社の宮司に就任した平

栽培してゐるとの話に、

参加者は

のだが、

材料の麻は免許を取って

興味深く聴き入ってゐた。

も称される。麻松明が使用される

化財に指定されてをり、

火祭りと

この祭は岐阜県重要無形民俗文

尊い御姿であった。 なったので拾って見ると、 成十八年の正月の事である。 左手に皿。塩湯をされて、 音様の頭部であった。ビックリ仰 て居て、 其の御姿に感動、 早速に石材店にて接着修理 足元の丸い石が気に 右手に榊、 何と観 何とも

行ってゐる。 御祭に合はせて、 を斎行し、神社の例祭と年数回の 早速、石積み御堂を建て、遷座祭 観世音の御祭を

な

目出たく御祭を伝承したい。 此の不思議な出来事を語り継ぎ、



う

# 祭祀舞講習会開催 吉城郡支部

行った。 にJA国府会館で祭祀舞講習会を 吉城郡支部では、 八月二十六日

今回は巫女に直接教へるのでは 各神社の指導者を育てるこ

> の舞を教へていただいた。 とを目的に集まってもらひ、 浦 安

神社もあり、非常に充実した講習 デオカメラを使って映像を残した 習得したやうであった。 していただき、 会になった。 時間をかけて細かく丁寧に指導 受講者はしっかり 中にはビ

十月

日

羽島

高彦神社

禰宜

浅野

由起 重光

昨今、 を行っていきたいと思ふ。 ができるので、これからも講習会 女が揃ったときに復活させること 納できなくなる神社が増えてゐる 各神社の氏子が減少し、 指導者を育てておけば、 舞が奉



## 神 職 異 動 (敬称略

### 新任

	八月
日	日
瑞浪市	瑞浪市
八幡神社	酒波神社
権禰宜	権禰宜
工藤	土屋

## ○退職

+				退
月	十月三	九月	八月三十	聣
三十日	月三十一日	三十日	一十一日	
可児	郡上市	土岐	美濃市	
白鬚神社	神明神社	白山神社	住吉神社	
宮司	宮司	宮司代務者	宮司	
市原	佐藤	加藤	遠藤	
仁司	澄 夫	幸直	喜重	

### ○帰 幽

十月二十三日 吉城郡 五社 神社 宮司 上杉

千文

### 行 事 予 定 (一月~六月)

### 月 十八日 木 新年初会

二月 九日 金 教化委員会

十二日 十二日 木  $\hat{\mathbf{t}}$ 支部教化部長会 庁長副庁長会

七日 木 神宮大麻暦頒布終了奉告祭

三月

七日 木 役員会

月 二十四日 水 岐阜県神社関係者大会

四

五.

月二十九日 水 役員会

二十九日 第一回御樋代木奉迎送打合会



### 1)登 録 資 格

どなたでも登録OK!!

登録は無料です。ただし、メールを受信する ための通信費はご利用者の負担となります。 必ず、利用者登録内にある「利用規約」の ご確認をお願いします。

### 録

### ■バーコード読取機能から登録

QRコードを読み取り、空メール を送信して下さい。

※携帯電話会社が提供している「キャリア メール」で受信出来ない方は「Gmail」 「Yahooメール」などの「Webメール」 で登録してください。

### ■メール送信による登録

下記の登録用メールアドレスに空メール を送信してください。

登録用 メールアドレス

gifupolice@sg-m.jp

空メールを送信すると仮登録となります。自動送信されるメールの案内に従って、配信希望地域等を登録してください。

### ③配信希望地域

警察署単位で複数選択できます。※重要な情報などは、選択した地域以外の情報を配信することがあります。

お住まいの地域や職場等、警察署管轄単位で、配信希望地域を複数選択することができます。

### 4配信情報種別

### 情報種別を複数選択できます。

※重要な情報などは、選択した種別以外の情報を配信することがあります。

子供と女性の安全 に関する情報

犯罪の発生・検挙等 に関する情報

猟銃等の安全利用 に関する情報

県警からのお知らせ

サイバー犯罪に 関する情報

交通安全に関する 情報

災害に関する情報

警察イベント情報

受信を希望する情報種別を上記から複数選択することができます。

- 登録された方の接続環境や利用環境により、メール配信が遅延する場合があります。
- 情報の配信は、緊急性・重要性によって休日や夜間にメール配信をすることがありますので、あらかじめご了承 ください。
- 情報の内容によっては、登録された配信希望地域と情報種別に関係なく、メールを配信することがあります。
- 配信メールの情報は、断片的な情報であり、問い合わせはご遠慮願います。
- 配信されたメールに返信することはできません。

### 岐阜県警察